



け や き



No.2

甲府市立南中学校
令和3年5月28日
文責 渡 邊 豪

目指すところは ○ ○ ○

新年度が始まり、学校生活がスタートしてから2月あまりが過ぎ、子ども達が授業や諸活動に取り組んでいる様子を観ると、一人ひとりが少しずつ成長していると感じられる場面が多くなってきました。日々成長していく子ども達ですが、私達が目指すゴールは、子どもの自立とも言えると思います。中学在籍時に学校や家庭で特に意識したいことは、「子どもから目は離さないが、手は少しずつ離していく」あるいは、「子どもとの心の距離は近いけれど、体の距離は少しずつ離していく」ということだと思います。これは、子どもたちを家庭、学校、地域社会で大人にしていこう、という意識を私達大人がもち、自立に導いていくためです。

しかし、実際にそうなると、これまでいつも手の中に、または、手の届くところにいた子どもが、自分から離れていくような気がして、さびしいと感じることもありますが、やがて日々たくましくなっていく様子を見守ることが、喜びに変わると思います。そうやって親離れ、同時に子離れの時期を迎えることが、子どものこれからの人生において、また、私達大人にとっても財産となるはずで、子どもの自立を支える一側面は、私達大人の子離れであり、子育てのゴールもそこにあるのかもしれませんが、そのためには、成長して離れていく子どもの後ろ姿を、立ち止まって見送ることができる私達大人でなければならないと思います。



中学校での学習、特に生徒会活動や諸行事、部活動などでは、子どもの自立を意識した取り組みが行われます。そういった経験を通して、自立に向けた足がかりを作るのが、中学校時代ではないかと私は考えています。やがて3年生になると、多くの子どもにとって初めての経験となる、自分自身の卒業後の進路について考え、決定し、これから自分が進む道を切り開いていくことに向き合うこととなります。そこには、自分で選択・決定するが故の苦しさや厳しさがあります。



それをきちんと乗り越えていける力を、その時まで身に付けることが大切だと思います。

中学時代はわずか3年間ですが、とても密度の高い時間です。この3年間をどう過ごすか、また、どう過ごさせるかで、その後の歩みが変わることもあります。家庭と学校が連絡・連携を密接にとりながら、子ども達を大人へと成長させていきましょう。そして、困難なことにも立ち向かい、乗り越えていける力とたくましさを身に付けさせましょう。

2016年に選挙権年齢が18歳に引き下げられ、来年4月には成人年齢が18歳になります。18歳で成人に達すると、親の同意を得なくても、自分の意思で様々な契約を結べるようになります。契約の知識や経験が少ないため、消費者トラブルに遭いやすくなる可能性もあり、注意が必要です。18歳成人制まで1年を切った今、子ども達を自立へと確実に導いていくことが急務となっており、私達大人に課せられた重要な役割だと思います。

生徒会活動が本格的に始まりました

今年度は、予定どおり新年度のスタートを切ることができ、授業や諸行事は新型コロナ対策を行いながら、できるかぎり実施可能となるよう、検討を重ねながら慎重に行っています。

5月13日には、「生徒総会代替中央委員会」が開催されました。4月21日の第1回中央委員会で、「令和3年度生徒総会議案書」が提案され、4月27日に「学級討議」を行いました。本来であれば全校生徒が体育館で「生徒総会」を行うところですが、本校の体育館の広さと全校生徒数との関係で、体育館に全校生徒を集めて行事を行うことは、新型コロナ感染対策上困難であり、今年度は「生徒総会代替中央委員会」を実施しました。

当日は生徒会本部役員と各学級より学級役員2名が代表として参加し、各学級での事前の討議内容に基づいて、中央委員会を進めました。令和3年度生徒会テーマ「Relight ; リライト」は、昨年度新型コロナウイルスの影響で、生徒会活動が不完全な状態で終わってしまったので、今まで受け継いできた『南中の火』を再び点灯したい、という思いが込められています。活動重点1.

【継続の火】①「縦割り清掃」、②「あさがお運動」、2. 【向上の火】③「ノーチャーム WEEK」、④「教えて！南中声！！」、3. 【伝統の火】⑤「合唱3 days」、⑥「きずな応援皆」が討議・承認され、今年度の生徒会活動が本格的に始動しました。



5月18日から20日の3日間、第1回【あさがお運動】が行われました。この活動は、南中学区の小学校と連携して実施しているあいさつ運動です。「おはようございます！」8時から15分間、生徒会役員や縦割りブロックが中心となり、爽やかなあいさつの輪が広がっていきました。生徒主体の活動が行われると、学校というのは生き生きとした明るい雰囲気とエネルギーが満ちてきます。令和3年度が明るくスタートでき、喜ばしく感じています。

コロナ初初めての授業参観（学校開放日）を行いました

5月6日・7日の両日に、昨年度実施することができなかった授業参観（学校開放日）を行いました。6日に各学年の奇数クラス7日は偶数クラスと分け、午前中4時間を授業参観としました。感染対策として、①参観時間の希望を取り、参観者が集中しないことを確認。②教室に入らず前後の入口から参観。③入口で手指消毒。④健康チェック表の提出。⑤マスクの着用。以上の対策を行い、1年ぶりの授業参観を行いました。参観者は感染対策を遵守したうえで、授業や教室の様子を参観していました。

5月末現在、山梨県の感染者数も増加しており、これまでの最多を記録した1月の感染者数332人に5月の感染者数は迫っています。さらに、変異ウイルスの割合が高まり、感染力の強さと重症化リスクの高さが心配されます。学校は、人が集まることで教育効果が高まるので、できる限り通常に近い学校運営を行っています。最低でも現状維持を図るために、【感染しない、感染させない】を合い言葉に、今後も感染防止対策への取り組みをお願いします。お子様や御家族の発熱等体調不良の際は、念のため休ませて受診するよう、重ねてお願いします。コロナ禍であっても、南中生が元気に学校生活を送れることを一番の目標としていますので、引き続き御協力をよろしくお願いします。

